

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和6年3月21日(2024.3.21)

【公開番号】特開2023-24443(P2023-24443A)

【公開日】令和5年2月16日(2023.2.16)

【年通号数】公開公報(特許)2023-031

【出願番号】特願2022-185416(P2022-185416)

【国際特許分類】

H 0 1 L 2 1 / 6 8 3 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 1 L 2 1 / 3 0 6 5 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 1 L 2 1 / 3 1 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 2 3 C 1 4 / 5 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 2 3 C 1 6 / 4 5 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 5 B 3 / 1 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 5 B 3 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

H 0 5 B 3 / 7 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

H 0 1 L 2 1 / 6 8 R

H 0 1 L 2 1 / 3 0 2 1 0 1 G

H 0 1 L 2 1 / 3 1 C

C 2 3 C 1 4 / 5 0 A

C 2 3 C 1 6 / 4 5 8

H 0 5 B 3 / 1 0 A

H 0 5 B 3 / 1 8

H 0 5 B 3 / 7 4

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

処理対象物を載置する第1主面と、前記第1主面とは反対側の第2主面と、を有するセラミック誘電体基板と、

前記セラミック誘電体基板を支持するベースプレートと、

前記セラミック誘電体基板を加熱するヒータ部と、

を備え、

前記ヒータ部は、電流が流れることにより発熱するヒータラインを備えたヒータエレメントを有し、

前記ヒータラインは、第1折り返し部と、少なくとも一部が前記第1折り返し部と周方向に対向して配置される第2折り返し部と、を備え、

前記第1折り返し部は、周方向に延びる一对の第1周方向ヒータライン部と、前記一对の第1周方向ヒータライン部の端部同士をつなぐ第1径方向ヒータライン部とを有し、

前記第2折り返し部は、周方向に延びる一对の第2周方向ヒータライン部と、前記一对の第2周方向ヒータライン部の端部同士をつなぐ第2径方向ヒータライン部とを有し、

前記一对の第1周方向ヒータライン部のうち周方向において外周側に位置する第1外側

30

40

50

周方向ヒータライン部を周方向に延長した外側仮想線は、前記一对の第2周方向ヒータライン部のうち周方向において外周側に位置する第2外側周方向ヒータライン部と重ならないことを特徴とする静電チャック。

【請求項2】

前記一对の第1周方向ヒータライン部のうち周方向において内周側に位置する第1内側周方向ヒータライン部を周方向に延長した内側仮想線は、前記第2外側周方向ヒータライン部と重ならないことを特徴とする、請求項1に記載の静電チャック。

【請求項3】

前記内側仮想線は、前記一对の第2周方向ヒータライン部のうち周方向において内周側に位置する第2内側周方向ヒータライン部と重ならないことを特徴とする、請求項2に記載の静電チャック。

10

【請求項4】

前記ヒータラインは、前記第1折り返し部と前記第2折り返し部との間に、径方向に延びる部分を有する、請求項1または2に記載の静電チャック。

20

30

40

50